

PAT-NO: JP02001350584A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001350584 A
TITLE: MOUSE PAD
PUBN-DATE: December 21, 2001

INVENTOR- INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MORITA, SUNAO	N/A

ASSIGNEE- INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SONY CORP	N/A

APPL-NO: JP2000174207

APPL-DATE: June 6, 2000

INT-CL (IPC): G06F003/033, G06K017/00 , G06K019/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To hold an IC card by preventing the operation of a mouse from being disturbed by applying a mouse pad for the operation of a mouse in which the function of, for example, a reader writer is incorporated.

SOLUTION: This mouse pad has a recessed part where the IC card 4 is held, on its top surface side.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

Dec 21, 2001

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-350584

(P2001-350584A)

(43) 公開日 平成13年12月21日 (2001.12.21)

(51) Int.Cl. ⁷	説明記号	F I	マーク*(参考)
G 06 F 3/033	3 4 0	G 06 F 3/033	3 4 0 C 5 B 0 3 5
G 06 K 17/00		G 06 K 17/00	F 5 B 0 5 8
			L 5 B 0 8 7
19/00		19/00	Y

審査請求 未請求 請求項の数 2 OL (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-174207(P2000-174207)

(22) 出願日 平成12年6月6日 (2000.6.6)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 森田 直

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

(74) 代理人 100102185

弁理士 多田 錠

F ターム(参考) 5B035 AA13 BA03 BB09 CA23

5B058 CA15 KA33

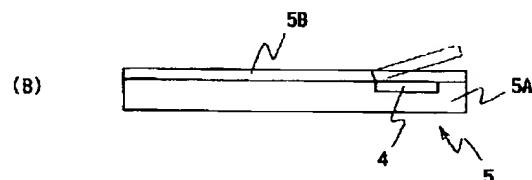
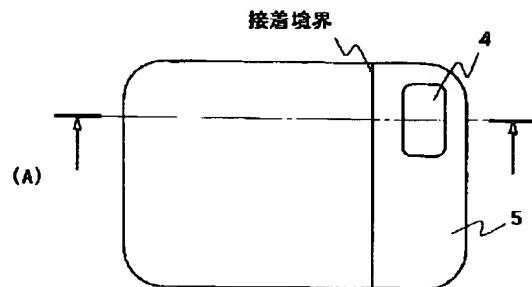
5B087 BB18 BC13

(54) 【発明の名称】 マウスパッド

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、マウスパッドに関し、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウスを操作するマウスパッドに適用して、マウスの操作を妨げないようにしてI Cカードを保持することができるようとする。

【解決手段】 本発明は、I Cカード4を保持する凹部5を表面側に形成する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】弾性を有する樹脂材料による板材であつて、表面にICカードを保持する凹部を有することを特徴とするマウスパッド。

【請求項2】前記凹部を他の部位と共に前記表面側より覆う透明シート材を有することを特徴とする請求項1に記載のマウスパッド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、マウスパッドに関し、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウスを操作するマウスパッドに適用することができる。本発明は、ICカードを保持する凹部を表面側に形成することにより、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウスの操作を妨げないようにしてICカードを保持することができるようになる。

【0002】

【従来の技術】従来、パーソナルコンピュータにおいては、例えばマウスパッド上におけるマウスの操作により画面上に表示した各種メニュー等の選択して所望の処理を実行するようになされている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところでこのようなパーソナルコンピュータによる各種処理においては、パスワード等の個人情報の入力が必要になる場合がある。これに対して近年、個人情報を記録して簡易に提示する手段としてICカードが種々の場所で利用されるようになされている。

【0004】これによりこの種のパーソナルコンピュータにおける個人情報等の入力においても、ICカードを利用することにより作業を簡略化し、さらにはセキュリティを向上することが考えられる。このようにすれば、単にパスワードの入力だけでなく、ICカードにて利用した電子マネーの確認等についても、パーソナルコンピュータを用いて家庭で実行可能とできる。

【0005】この場合に、非接触型ICカードにこの種の個人情報を記録すると共に、リーダライタの機能をマウスに組み込むことが考えられる。このようにすれば、マウスを操作して各種処理を実行している過程で、パーソナルコンピュータへの個人情報の入力が必要になると、手に持ったマウスをICカード上に移動させて個人情報を読み込ませ、これによりマウスによる一連の操作を中断させることなくICカードより個人情報を入力することができる。

【0006】ところがICカードにおいては、薄型に作成されてはいるものの、例えばマウスパッド、テーブル等の上に載置してマウスをスライドさせた場合には、マウスの移動により引っ掛けたてICカードが弾かれたり

2

し、これによりマウスのスムーズな操作を妨げる問題がある。

【0007】本発明は以上の点を考慮してなされたもので、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウスの操作を妨げないようにしてICカードを保持することができるマウスパッドを提案しようとするものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するため本発明においては、弾性を有する樹脂材料による板材であって、表面にICカードを保持する凹部を有するようになる。

【0009】本発明によれば、表面にICカードを保持する凹部を有することにより、この凹部にICカードを配置しておくことにより、必要に応じてこのICカードの上にマウスをスライドさせるようにした場合に、マウスが引っ掛けたてICカードを弾いたりすることを防止でき、これによりマウスのスムーズな操作の妨げとならないよう、ICカードを保持することができる。

【0010】

【0011】図2は、本発明の実施の形態に係る情報処理システムを示すブロック図である。この情報処理システム1においては、マウス2の操作によりパーソナルコンピュータ(PC)3を起動して種々の処理を実行できるようになされ、このマウス2が、通常のマウスの機能に加えて、非接触型ICカード4のリーダライタの機能を併せ持つように構成される。

【0012】ここでICカード4は、薄板の配線基板に集積回路を実装した後、所定の保護シートにより密閉して全体がカード形状に作成される。ICカード4は、この配線基板の配線パターンによりループアンテナが形成され、このループアンテナに誘起される高周波信号により動作する。これによりICカード4は、通信対象に近接して保持され、この通信対象より高周波信号が送出されると、動作を開始する。さらにICカード4は、このようにして動作を開始すると、通信対象から送出されたデータを受信し、この受信したデータに応じて、内蔵のメモリに保持したデータを更新し、またメモリに保持したデータを通信対象に送信する。これによりICカード4は、通信対象からの要求に応じてメモリに保持したパスワード、電子マネーのデータ等を通信対象に送出するようになされている。

【0013】マウス2は、片手により把持できる大きさにより全体が形成され、これにより必要に応じてマウスパッド5等の上でスライドさせてパーソナルコンピュータ3の画面に表示された各種メニューを操作できるようになされている。またマウス2は、このような座標入力の構成に加えて、ICカード4に高周波信号を供給するループアンテナ、このループアンテナを駆動し、またル

アアンテナを介して受信した信号を処理する信号処理回路を有し、これらの構成によりICカード4の上に配置してICカード4を起動し、さらに相互認証等の一連の処理を実行して各種のデータを受信する。

【0014】パソコンコンピュータ3は、マウス2より入力される各種座標データ等により、表示画面上におけるカーソルを移動させ、さらにはマウス2におけるクリックに応じて表示画面の切り替え等を実行する。これらの処理において、パスワードの入力が必要になると、ユーザーにパスワードの入力を促すメニュー画面を表示した後、マウス2より入力されるパスワードを取り込んで個人認証等の処理を実行する。また電子マネーに関するアプリケーションプログラムを実行している場合等において、ICカード4に記録された電子マネー等のデータが必要になると、ユーザーに対応するデータの入力を促すメニューを表示した後、マウス2より入力される電子マネー等のデータを取り込んで一連の処理を実行する。

【0015】これらの構成によりこの実施の形態では、マウス2を操作してパソコンコンピュータ3の各種処理を実行できるようになされ、この処理の中でパスワード等の入力が必要になると、マウス2をICカード4の上に持ち来して所定の操作を実行するだけの簡易な作業によりパスワードを入力できるようになされ、さらには電子マネーのデータを入力できるようになされている。

【0016】マウスパッド5は、これら一連の処理において、マウス2をスライドさせるだけで、ICカード4上にマウス2を持ち来すことができるよう、さらにこのときマウス2のスムーズな動きを妨げないように、ICカード4を所定位置に保持する。

【0017】すなわち図1に平面図及び断面図を示すように、マウスパッド5は、弾性を有する板材であるベース材5Aの上に、透明シート材5Bを配置して構成される。このうちベース材5Aは、例えば発泡ウレタン等により形成され、右上側の隅部にICカード4を保持する四部が形成されるようになされている。これによりマウスパッド5は、この四部にICカード4を保持できるようになされている。

【0018】マウスパッド5は、この四部の深さがほぼICカード4の板厚に設定され、これによりICカード4を配置した際に、このICカード4の部分が表面側に飛び出さないようにになされ、これによりマウス2のスムーズな操作を妨げないようにになされている。

【0019】さらにマウスパッド5は、この四部の肉厚が所定厚さ以上となるように設定され、これによりICカード4を保持した状態で例えばこのマウスパッド5を鉄製の机の上に載置し、マウス2によりICカード4のデータを読み出す場合でも、の鉄製の机の影響をマウス2に内蔵のリーダライタに影響を与えないようになされている。

【0020】透明シート材5Bは、このようにICカード4を保持する側との境界である図1(A)に示す接着境界を境にして、ICカード4を保持しない側がベース材5Aに接着されるのに対し、ICカード4を保持する側においては、単にベース材5Aに重ね合わせて保持される。これによりマウスパッド5は、図1(B)において想像線により示すよう、必要に応じてシート材5Bを持ち上げてベース材5Aの四部にICカード4を配置した後、全体をシート材5Bに覆うことができるようになされている。

【0021】シート材5B、マウス2に適当な摩擦を発生することができるよう、またこのようにベース材5Aの四部に配置したICカード4を目視することができるよう構成され、これによりマウス2をスライドさせてICカード4の上にマウス2を移動させることができるようになされている。このときマウスパッド5においては、シート材5BがICカード4と共に全体を覆うことにより、マウス2の操作によりICカード4の表面に作成された各種印刷を保護することができるようになされている。

【0022】以上の構成によれば、ICカードを保持する四部を表面側に形成することにより、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウスの操作を妨げないようにしてICカードを保持することができる。これにより単にマウスをスライドさせてICカードを各種データの記憶装置として有効に利用することができ、この種のシステムの使い勝手を一段と向上することができる。

【0023】また全体を透明シート材で覆うことにより、ICカードに形成された各種の印刷を保護することができ、さらには一段とスムーズにマウスを操作することができる。

【0024】なお上述の実施の形態においては、透明シート材により全体を覆う場合について述べたが、本発明はこれに限らず、実用上十分な場合には、透明シート材を省略してもよい。

【0025】また上述の実施の形態においては、リーダライタの機能をマウス側に設ける場合について述べたが、本発明はこれに限らず、マウスパッド側に設ける場合にも広く適用することができる。なおこの場合、マウスに組み込んだアンテナ、信号処理回路、パソコンコンピュータとの間のインターフェースをマウスパッド側に組み込むことになり、ICカードを保持する四部にこのうちの少なくともループアンテナを配置することになる。

【0026】

【発明の効果】上述のように本発明によれば、ICカードを保持する四部を表面側に形成することにより、マウスの操作を妨げないようにしてICカードを保持することができる。

50 【図面の簡単な説明】

5

6

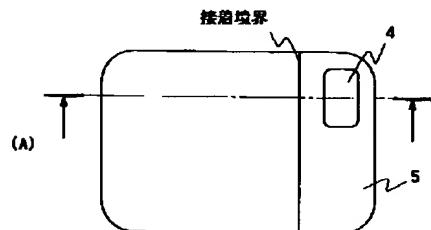
【図1】本発明の実施の形態にかかるマウスパッドを示す平面図及び断面図である。

【図2】図1のマウスパッドを用いた情報処理システムを示すブロック図である。

【符号の説明】

1……情報処理システム、2……マウス、3……パーソナルコンピュータ、4……ICカード、5……マウスパッド

【図1】



【図2】

